

平成21年度試験研究体系図

自然環境保全センター研究部

- 丹沢大山の自然環境の保全と再生に関する研究
 - 丹沢ブナ林等の衰退原因の解明と再生技術の開発 **重**★
 - ・ブナハバチの生態解明と防除技術の開発 (H19～) ★
 - ・ブナ帯森林再生のための実証的研究 (H19～) ★
 - ・ブナ林立地環境モニタリング調査 (H18～) ★
 - 希少動植物の保全技術の開発
 - ・希少動植物の保護増殖技術に関する研究 (H19～23) ★^②
 - 自然環境の統合的な管理技術の開発 **重**★
 - ・丹沢山地の自然環境の統合的管理に関する研究 (H19～) ★^②
 - ・ニホンジカの効果的な管理技術の開発 (H19～21) ★^②
 - ・外来植物の管理と在来種による緑化技術の開発 (H20～23) ★^②

- 豊かで活力ある公益的機能の高い森林の整備
 - 森林の水源かん養機能保全に関する研究開発 **重**
 - ・森林の水源かん養機能評価と情報提供に関する技術開発 (H19～) ★
 - ・水源林の保全と再生技術の開発に関する研究 (H14～) ★
 - ・溪畔林のモニタリングと再生技術の開発 (H19～) ★
 - 公益的機能を生かす森林活用の研究支援
 - ・森林吸収源計測・活用体制効果検証事業 (H18～22) ★

- 持続可能な資源の利用と管理
 - スギ・ヒノキ花粉削減に関する総合的研究 **重**★
 - ・花粉のないスギ・ヒノキ実用化プロジェクト研究(H17～22) **政**★
 - ・ヒノキ花粉発生源調査 (H21～23) ★
 - ・スギヒノキ林の花粉削減に関する研究 (H17～21) ★
 - 森林資源の利用技術の高度化研究
 - ・スギ・ヒノキ穿孔性害虫材の材質劣化研究 (H18～21) ★
 - ・中山間地域を活性化する特用林産物の生産技術開発 (H18～22) ★

関連事業

林木育種事業 (S32～)

水源広葉樹苗木育成事業 (H21～25)

【注】 ●：研究開発の方向、○：研究課題、・：小課題

重：プロジェクト型の重点課題

新：新規研究課題

政：政策課題

★：要試験研究問題対応課題

②：平成20年度に要試験研究問題として提案されたもの（実施中課題を含む）